



はちまんECOインフォ

2
号

今年2月に設立20周年を迎えられました「白鳥川の景観をよくする会」の活動について取材を行いました。今回の活動では19名の会員が参加され、白鳥川の堤防・遊歩道沿いの清掃を実施されました。猛暑の中での作業となりましたが、こまめな水分補給・休憩を設けておられ、作業時には肩掛け式の草刈り機や自走式草刈り機等を駆使し、手際良く繁茂した雑草の刈取り、桜の木の剪定を行われていました。また剪定された枝を括る、収集場所への運搬、遊歩道上に散乱した刈草の清掃等チームワークの良さが感じられました。

長年、白鳥川の景観をよくする会の代表を務められ、現在は名誉会長となられた吉田さんは、市内の中央を流れ、各地の湧き水や雨水が流れ込む全国的に見ても珍しい由緒ある白鳥川の堤防や遊歩道を鬱蒼とした状態にしておけない。白鳥川をきれいに保つことでびわ湖の美化にもつながると仰り、20年活動を続けてこられました。



↑ 除草作業中



↑ 作業完了後

現代表の佐藤さんは今後の課題について、資金調達と後継者不足と仰っておられました。清掃活動に使用する草刈り機の替え刃や機械のメンテナンス、燃料費も大きな負担となっていること、70歳でも働く方が増え、ボランティア活動を始めることが困難になっているとのこととです。

ご興味のある方はこの機会にぜひご参加ください。